

平成31年度予算見積調書

課室名: 畜産安全課
 担当名: 畜産振興担当
 内線: 4193

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B27	「彩の国地鶏タマシャモ」血統更新事業			一般会計	農林水産業費	畜産業費	畜産振興費	畜産経営改善対策費	
事業期間	平成27年度～平成32年度	根拠法令	養鶏振興法第18条			宣言項目	09	儲かる農業の推進	
					分野施策	040937	強みを生かした収益力ある農業の確立		
1 事業の概要				5 事業説明					
<p>彩の国地鶏タマシャモの血統を更新することでヒナの生産効率を向上させるとともに、必要な機械整備によりヒナの安定供給を図る。 また、農業高校と連携し、鳥インフルエンザ発生時のリスクを回避するための分散飼育を行う。</p> <p>(1) 彩の国地鶏タマシャモ開発研究事業 3,081千円 (2) 農業高校連携推進事業 380千円</p>				<p>(1) 事業内容 農業技術研究センターが飼育する彩の国地鶏タマシャモの原種鶏は血縁が濃くなり、産卵率や病気への抵抗力が低下し、ヒナの生産効率が悪化している。そこで、他系統のシャモを導入してタマシャモの血統を更新するとともに、効率的生産のための機械整備を行い、ヒナの安定供給を図る。 また、農業高校と連携し、鳥インフルエンザのリスク回避のための原種鶏の分散飼育を行い、タマシャモの維持及び振興を図る。 ア 彩の国地鶏タマシャモ開発研究事業 3,081千円 他系統シャモ導入による血統更新 イ 農業高校連携推進事業 380千円 農業高校における原種鶏の分散飼育</p> <p>(2) 事業計画 平成27年度～ 彩の国地鶏タマシャモ開発研究、原種鶏分散飼育、設備修繕、機械整備</p> <p>(3) 事業効果 血統更新によって生産効率が改善し、ヒナの安定供給が図られる。 さらに、分散飼育によって鳥インフルエンザからの危機回避が図られる。 平成28年度 31,600羽 → 平成32年度 40,000羽</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 彩の国地鶏タマシャモ普及協議会（生産者、食鳥処理業者、販売業者、行政機関）と連携し、タマシャモの生産拡大を推進する。 また、農業高校と連携してタマシャモの維持及び振興を行う。</p>					
2 事業主体及び負担区分									
<p>(1) (県10/10) (2) (県10/10)</p>									
3 地方財政措置の状況									
なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員									
9,500千円×0.3人=2,850千円									
財 源 内 訳									
予算額								一般財源	前年との対比
決定額	3,461							3,461	△877
前年額	4,338							4,338	